

熊本の“海の玄関口”を美しい花で彩る

同 会は、熊本市西部地域の夏の風物詩となっている「中島校区夏まつり納涼花火大会」の運営も担っています。同校区のまちづくり委員会会長で、新港会メンバーでもある中村邦博さんは、一校区を挙げて企業や団体、校区内の世帯を回り、寄付・協賛を集めて運営費に充てます。

地域住民からは、「花や花火

地域活動で大切なのは自分たちが楽しむこと

「熊本の海の玄関口を花で彩り、利用者に気持ち良く過ごしてもらいたいとの思いで活動しています」と吉見さん。現在、20〜60歳のメンバー約30人が活動に取り組んでいます。

熊 本市西区にある熊本港や沿道に設置された花壇には、季節ごとに色とりどりの花が咲き、訪れた人たちを温かく出迎えてくれます。その花の植栽や維持・管理、周辺の清掃などを行っているのが「新港会」です。「中島校区の活性化を図りたい」と、現会長の吉見哲朗さんをはじめとする有志が集まり、1993年に同会を結成。活動の一環として始めたのが「熊本港花いつぱい計画」です。

「大変な面もありますが、どの活動も自分たちが楽しんでいながら続けられる。取り組みを通じて世代間や異業種間のつながりができ、地域に一体感が生まれます」（中村さん）

12月2日には、高齢者から子どもまでが集つ「中島校区ふれあいフェスタ」を初開催。地域に、また一つ笑顔の花を咲かせます。



発足当初は5〜6人で約3日を要していた植栽も、今では約20名が参加し1日で終わります

地域担当職員からひと言

「新港会」では、若い方々が中心となり、素晴らしい実行力で中島校区をけん引されています。まちセンでもイベント協力の他、多くの人に足を運んでいただくよう、広報のお手伝いをしています。花火大会には韓国からの観光客も訪れるんですよ！

西部まちづくりセンター
塩澤 緑



人と地域と行政をつなぐ 週刊マガジン

まち・ひと つながる



熊本市まちづくりセンター通信 vol.8

熊本市内各校区で、まちづくりに関わり、地域の活性化のために頑張っている人たちを紹介します。



しみみなどかい
新港会 [写真右から]

中村 邦博さん(60) 吉見 哲朗さん(52)
上野 光国さん(52) 木村 敏朗さん(51)

お問い合わせ

- 熊本市地域政策課 ☎096(328)2031 (月〜金曜・8:30〜17:15)
chiikiseisaku@city.kumamoto.lg.jp
- 西部まちづくりセンター ☎096(329)7625



「まち・ひと・つながる」の紙面への感想をはじめ、まちづくりに関するアイデア、相談など左記にお寄せください。